



+++++

再就職支援のための国の助成金に絡み、人材会社が企業の人員削減を支援していた問題で、塩崎厚生労働相は11日、人員を削減した製紙大手の王子ホールディングス(HD)に対し、行き過ぎた退職勧奨が違法になることを伝えるなどの啓発指導をしたことを明らかにした。

王子HDは「指導内容も、指導にどう対応するかもお答えできない」としている。王子HDは、低評価の社員を「ローパー(ローパー)」と呼び、退職を迫っていた。対象社員が退職を断っても、在籍したまま人材会社大手のテンプレHDの子会社で転職先を探すよう命じており、民主党などが「人事権の濫用(らんよう)だ。不適切ではないか」と批判している。

民主党は同日、王子HDの進藤清貴会長とテンプレHDの水田正道社長を衆院厚生労働委員会に参考人招致するよう求めた。進藤氏は経団連雇用政策委員会の委員長を、水田氏は日本人材派遣協会の会長をそれぞれ務めている。

王子HDの子会社を実施した人員削減は、人材大手テンプレが退職の指南と再就職支援の両方に関して、王子が国の労働移動支援助成金を受け取っていた。(2016.3.12朝日新聞DIGITALより)

+++++

企業に不祥事があった場合、たとえば不適切会計が発覚した(株)東芝の企業力総合評価は、97→98→108→106→73と推移しました。不適切会計の発覚で33ポイントも下落してしまいました。信用失墜が経営に及ぼす影響は相当なものです。

王子HD(株)が同じように下落すれば76ポイントになってしまいます(↓)。破たん懸念ラインに近づき、厳しい経営状況となる可能性があります。けれど、王子HDの不祥事はあまり知られていません。報道の違い、人々の注目度の違いでしょうか。

以下、王子HD(株)の有価証券報告書から抜粋しました。

【対処すべき課題】

(1) 社会的責任の遂行(「企業行動憲章」の遵守)

当社グループは、社会との約束、人との約束を守り、企業の社会的責任を果たすことが当社グループの存立の条件であることを強く認識し、コンプライアンスの徹底を企業活動の根幹として位置づけ、全役員・全従業員が高い倫理観をもって行動するよう教育・啓蒙を図っています。(以下省略)

まとめ 王子HDは1949年8月創業の一部上場企業です。信用失墜によるダメージどころか、その後、株価は上昇に転じました。優良企業・・・なのでしょう。

編集後記

1億総活躍社会。君の活躍の場はそこじゃない、なんてヒドイよっ。

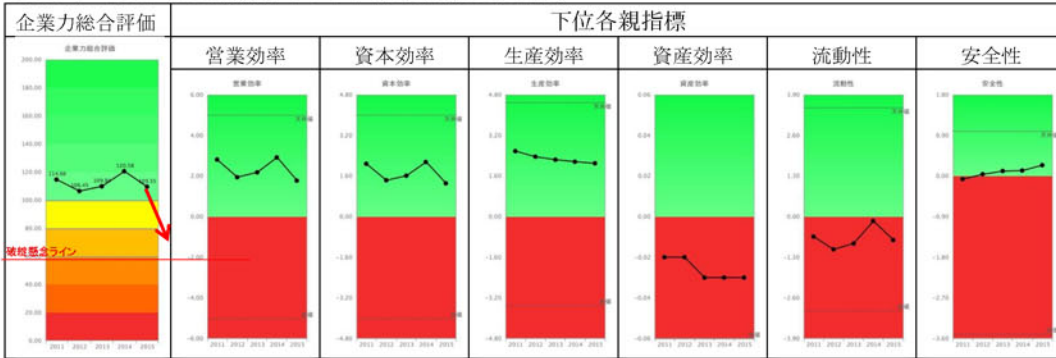
〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4-9-21 SARUKIビル4F 猿木真紀子税理士事務所
Tel. 06-6631-4570 Fax. 06-6631-7970 info@saruki-tax.jp http://www.saruki-tax.jp

今回は、製紙業大手の王子ホールディングス株式会社(以下、王子HD(株))を分析しました。王子HD(株)は、大手人材会社のテンプレHDの子会社からリストラ指南を受けて、従業員を退職に追いやり、これによって国の助成金(*下記参照)を得ていたことが問題になり、首切りビジネスと言われました。

(*) 労働移動支援助成金

企業が事業縮小などで雇用を維持できない状況になった場合、労働者を速やかに再就職させるため、再就職支援を人材会社などに委託すると企業に支給される助成金。

2011年~2015年3月期までの5年間を分析しました。



企業力総合評価は、114 → 106 → 109 → 120 → 109 と青信号領域の低いところを推移しています。

営業効率(儲かるか指標)・資本効率(資本の利用度指標)は青信号領域の真ん中あたりを上下に揺れています。

生産効率(人の利用度)は青信号領域ですが4期連続下落しています。この下落を食い止めるため2012年に従業員2000人(全体の1割)のリストラ計画を発表しました。新規雇用をしないで自然減とのことでした。従業員数が減少すれば、給与は減り、生産効率と営業効率が改善します。

資産効率(資産の利用度指標)は赤信号領域です。売上に対して総資産が多いのでしょう。

流動性(短期資金繰り指標)は、赤信号領域から出られません。

安全性(長期資金繰り指標)は赤信号領域から青信号領域へ着実に改善トレンドです。

以下の記事がありました。